

Screen Canopy Tarp

この度はスクリーンキャノピータープをお買い上げいただき誠に有難うございました。
タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。
また、石や木の枝等、タープを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●本体	1張
●ルーフポール (FRP、ブラック)	2本
●コーナーポール (スチール、グリーン)	4本
●リッジポール (FRP、グレー)	1本
●キャノピー用ポール (スチール、グリーン)	2本
●自在ロープ (3.5M、グリーン)	6本
●自在ロープ (2.5M、ベージュ)	1本
●ABSペグ	4本
●スチールピンベグ	12本
●ハンマー	1ヶ

設営手順

STEP 1 本体にポールをセットする

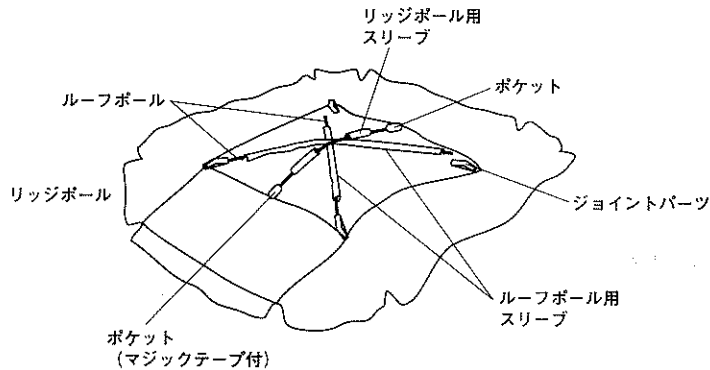
①本体を広げ、ルーフポールを伸ばします。

注意
ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んで下さい。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

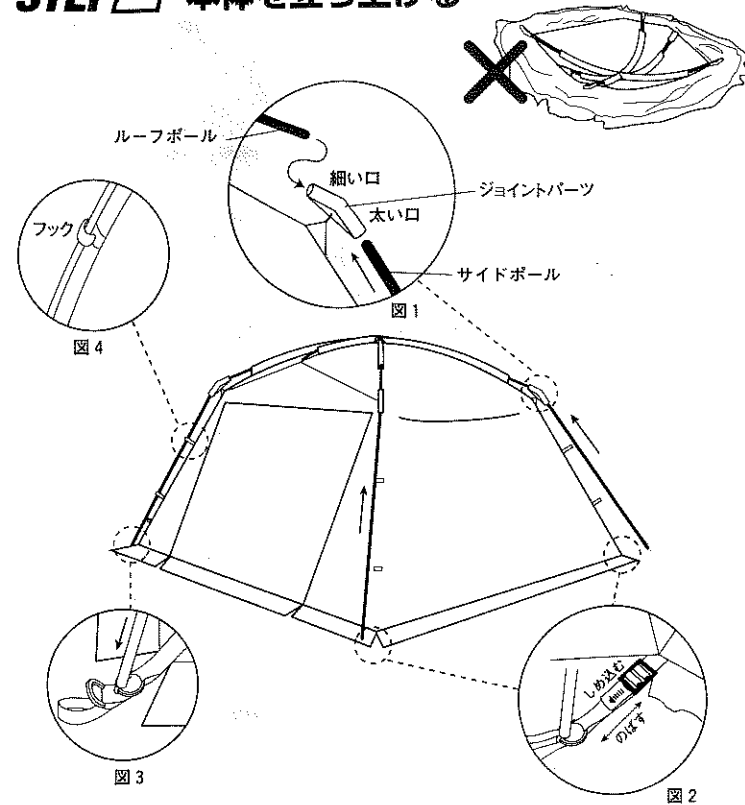
②ルーフポール2本をルーフポール用スリーブに通してから、リッジポールをリッジポール用スリーブに通してください。その時にセンターでクロスする所はリッジポールが上になる様にして下さい。

注意
ポールは引っ張らず必ず押し入れてください。

③リッジポールの先端を後方 (マジックテープのない方) のポケットに先入れ、次に前方に差しマジックテープでとめてください。



STEP 2 本体を立ち上げる



①2本のルーフポールをジョイントパーツの細い口側へ差し込み、屋根を完成させます。(図1)

注意
ジョイントパーツの穴は、中にギザギザが付いている方がルーフポール用です。ご注意ください。

注意
ポールのはね返りにご注意ください。おわん型にしないようにご注意ください。ポールが折れる可能性があります。

②本体四隅に付いているコーナーロープをのばして下さい。(図2)

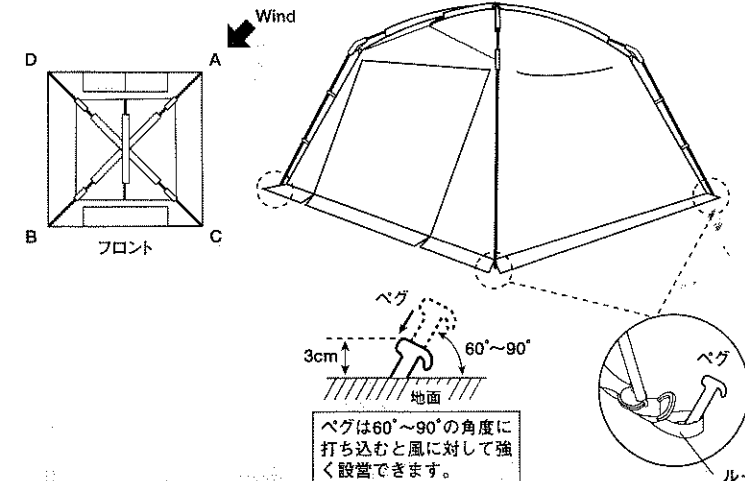
③4本のコーナーポールをジョイントパーツの太い口側へ差し込んで同時に矢印の方向へ押しながら、本体を立ち上げて下さい。ポールをエンドピンに差し込んで下さい。(図3)

注意
ポールをピンに差し込む時は指をはさまない様、ご注意ください。

④立ち上がったらコーナーロープをしめ込んで下さい。(図2)

⑤本体に付いているフックを各ポールに掛けて、固定して下さい。(図4)

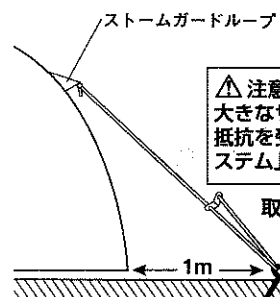
STEP 3 設営位置を決め四隅をペグで固定する



①図のように四隅のロープを風上より順に(A~D)対角線にペグ打ちしてタープを固定して下さい。

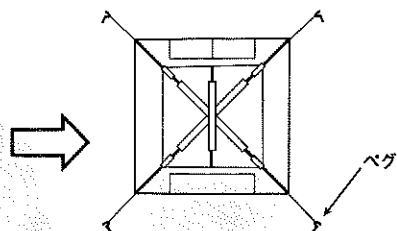
ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

STEP4 ストームガードシステムの活用



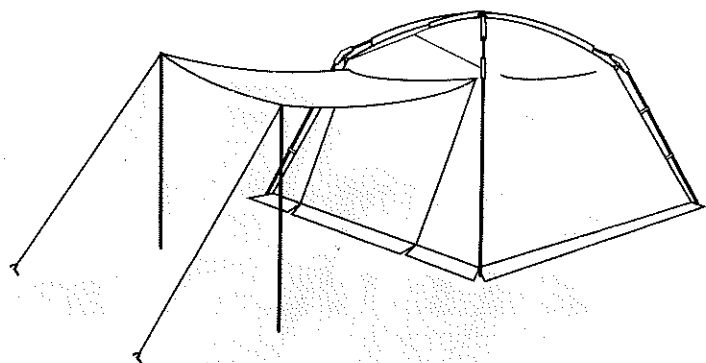
△注意
大きなサイズのタープはその構造上、風の抵抗を受けやすいので「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。

取り付け方
自在ロープの端をストームガードのループに結びます。



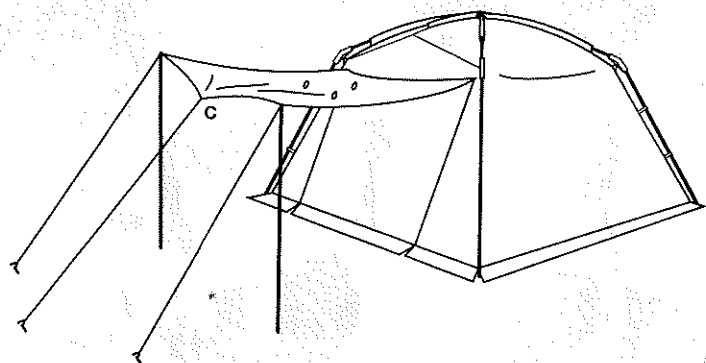
- ②上・左図の要領にて4ヵ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にベグ打ちして固定します。
- ③自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

STEP5 キャンピアーの活用



- ①付属のキャンピアー用ポールを使い、前室をキャンピアーとしてご使用できます。

STEP6 雨が降っている時のキャンピアーの活用

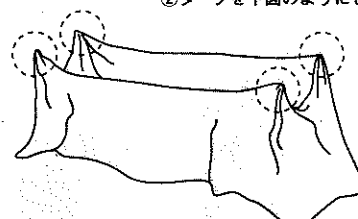


- ①雨が降っている場合は、Cのループにロープを結びロープをベグ止めて、雨水を流してください。

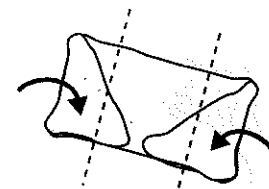
撤収手順

STEP1 タープをたたむ

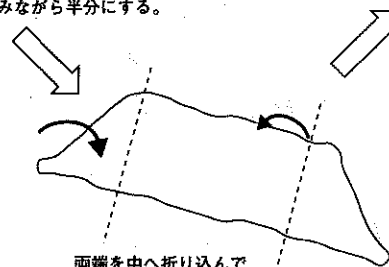
- ①タープを固定したベグ、ポールを全て外します。
- ②タープを下図のようにしてたたみます。



前後の屋根のジョイントパーツ四隅を持って、中央を折り込みながら半分にする。



長方形を更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

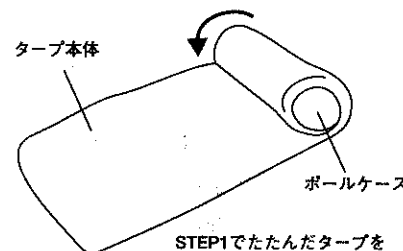


両端を中へ折り込んで長方形にする。



STEP2 ケースに収納する

- ①ポールを全てポールケースに収納します。
- ②最後に、本体を下図のように巻いて、キャリーバッグに収納します。



STEP1でたたんだタープをポールケースを芯にして巻いていく。

△注意
固く巻かないとキャリーバッグに入らない場合があります。

△ 取扱上の注意

●タープ内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設置してください。●タープ内と外の気温差が高い時、タープ内に水滴が生じることがありますが(結露)これは水漏れではありません。窓をあけるなど換気を行なうことで軽減できます。●台風・暴風雨の際は危険ですのでタープの使用はお避けください。

△ 収納・保管の注意

●ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での収納すると色うつりする場合があります。●生地破れなどは市販のリペアーキットで補修が可能ですが、パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。